



長崎の教育・学校現場の今を「ととってmotto!」と「NR」で定期的にお届けします。魅力ある学校や教育に関する取り組み、熱心に子どもたちの育成に励む教員たちを紹介します。

「長崎っ子の心を見つめる教育週間」スタート!

学校と保護者や地域住民が連携して、地域の子どもの地域で育てる取り組みで、2004年度から毎年実施しています。「いのちを輝かせて生きる、心豊かな長崎っ子」の育成を目指し、道徳の授業の公開や「SNSノート・ながさき」を活用した学習など、学校ごとに命を大切に育む心や思いやりの心を育む教育活動を行います。

前期 5月～7月
後期 9月～11月
5月～11月の間で
各学校が設定する一定期間

※保護者や地域の皆さまが、教育活動の様子をご覧いただけるよう、学校を開放します! 期間や内容は学校によって異なるので、詳細は各学校にお問い合わせください。

相手を尊重する意識高める



佐世保市立鹿町中学校
情報モラル学習

6月に学校全体で、県の教育教材「SNSノート・ながさき」を活用した情報モラル学習を行いました。SNSの発達により、コミュニケーション方法が多様化する情報社会の中で、自分だけではなく相手や他者を尊重し、責任を持って行動するための意識向上を目指しています。2023年度も実施予定です。

2022年度の取り組み紹介



平戸市立志々伎小学校
田植え体験

6月に全校児童40人が、地域の農家の人たちに教わりながら、田植え体験をしました。生命を育てる活動を通して命の大切さを感じ、自分たちの地域の良さを知ることなどが目的です。児童たちは「楽しかったけれど、大変な作業だと思った」「大きくしっかりと育てほしい」といった感想を語っていました。

地元農家に学ぶ命の大切さ



×E1 SNSノート・ながさき SNSなどの適切な利用法

子どもたちに、SNSなどのウェブメディアやゲームの適切な利用の仕方を教えるとともに、思いやりの心を育んでもらおうと、県教育委員会が作成した情報モラル教育教材です。発達段階に応じた学びができるように、小学校低学年用、中学年用、高学年用、中学校用、高校用の5種類があります。



×E2 ログマーク&キャラクター 佐世保西高の美術部が制作

この週間の啓発キャラクター「ここぼん」はみんなの心の中にいる妖精。寄り添って優しく包み、家族や自尊心の大切さ、自己肯定感を教えてくれます。三つのログマークと合わせて、県立佐世保西高美術部が制作しました。県児童生徒支援課のHPからダウンロードできるので、活用してください。

Teacher's File

長崎の学校で生き生きと働く先生たちにスポットを当てます



今回紹介するのは
西海市立西海小学校の
76 × 54

佐藤奈美先生

職場の協力で育児と両立

佐藤先生ってどんな先生?

ふるさとの西海市で小学校教諭になって6年目。2年4カ月の産休・育休を経て、今年4月に復職しました。2児の子育て中で、育児休暇制度を使って勤務しています。

先生のリフレッシュ方法

おいしいものを食べること。カスタードたっぷりのたい焼きやベビーカステラが好きです。

教員を目指したきっかけは

大学時代に家庭教師のアルバイトをしていて、担当だった女の子が最終日に手紙をくれました。その中に書かれていた「先生が教えてくれたおかげで勉強が好きになりました」という一文に感動し、学校の先生を目指そうと決めました。その手紙は今でも大切に取っています。

この仕事に就いて良かったと思うとき

現在は特別支援学級の担任をしています。試行錯誤する中で、その子に合わせた支援の工夫が大切だと感じています。集中力を切らさずに授業に取り組む姿を見ると特にうれしいですね。また、子どもがやる気を出したり笑顔になってくれたりすると幸せです。

現在の勤務形態について

定時より1時間遅く出勤し、1時間早く帰る育児休暇制度を活用しています。校長先生が職員全員に周知する機会を設けてくれました。出席できない職員会議や研修は情報のデータ共有をもらおうなど、職場の理解とフォローのおかげで、何の困り事もなく日々の仕事に励めています。